

# 県立大原高等学校

## 明治から令和へ、そして未来へと続く水産教育

### ～「無限の海をつくる」～

本校は、東京オリンピックサーフィン会場に近い、いすみ市に本校舎を位置し、岬地区、勝浦市にも実習場を持つ総合学科の高校です。3方を海に囲まれた本県は、海の恩恵を受けながら発展してきました。私たちは、そのなかでも外房の海を学びの本拠地とし、海洋科学系列の授業を展開しています。これは明治34年から続く、海の生物を守り、無限の海をつくる学びと言っても過言ではありません。

私たちの海は、アワビ、サザエ、イセエビ等の磯の漁業や、カツオ、キンメダイ、マグロ・カジキ等の魚を対象とする沿岸漁業が盛んな地域です。いずれも高級魚介類とされ、地域にさまざまな利益をもたらす一方、水産資源の減少は地域産業の衰退に直結。水産資源が地域を支えている現実があります。

その現状を回復する、あるいは悪化させないことが、私たちの学びの意義です。

#### ◆「無限の海」を作るために

#### 1. アワビ3種の種苗生産実習、スクーバダイビングによる放流実習

千葉県産出のアワビ3種を産卵させ人工授精させます。

2年後、授業で学んだスクーバダイビング技術を活用して、漁業者とともに磯へ放流する実習を展開しています。



#### 2. イサキ漁獲実習、産卵、種苗生産、親を漁獲した海域へ稚魚1万尾放流実習

SDGsの学びにも系統し、千葉県内の県立高等学校では初の、東京大学・笹川平和財団・日本財団が主催する海洋教育パイオニアスクールプログラムの研究指定を受けました。



この他にも、南方海域(世界遺産小笠原)でのダイビング生物調査、地域小学生への水産や漁業の公開授業、大学教授からの出前講座、1級小型船舶やダイビングライセンスの取得、魚介類の調理実習、食品加工(県内水産系高校との合同実習)、SUPなどのマリンスポーツ実習等にも取り組んでいます。



これらの取り組みは、新聞等でも、多く紹介されました。また、「海洋の授業は、毎日が刺激的で、史上最大に楽しいです。」生徒のこんな言葉が、私たちの学びのすべてを物語っています。

これからも、日々変わる海の顔を捉え、沢山の恩恵を与えてくれる海に感謝しながら、日々の学習を進め、海に恩返しをしていきます。

「千葉の海は俺達を守る」を心意気に、地域の海を地域の方々とともに発展させていきます。

お問い合わせ先 企画管理部教育政策課 電話043-223-402